



東部教育事務所社教便り『社窓』安芸市矢ノ丸1-4-36 東部教育事務所

TEL: 0887-34-3591

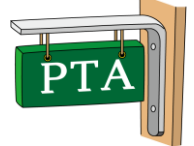
FAX: 0887-34-3592 [前田]

E-mail: 310304@ken.pref.kochi.lg.jp

NO. 30

(平成27年11月)

平成27年度 PTA・教育行政研修会（安芸地区及び香美・香南地区）



毎年県内7地区で行われているPTA・教育行政研修会が、5月30日（土）に安芸地区で、8月22日（土）に香美・香南地区で開かれ、安芸地区では89名、香美・香南地区では90名の参加があり、盛大に開催することができました。

この研修会は、「学校・保護者・行政が一体となり、子どもたちをとりまく状況の課題解決に向けて取り組む。」「PTAが組織的

に対応するための体制をつくり、行動化を促進する。」「PTAとして研修に参加し、研修の方法を学び、PTAとして何ができるのを考える。」という趣旨で、各地区市町村PTA連絡協議会と高知県教育委員会の共催で開催されています。今年のテーマは、「心身ともに健やかで自ら学ぶ意欲のある子どもを育もう」でした。

研修会の全体会では、各地区PTA連絡協議会会長、高知県教育委員会教育次長のあいさつの後、県教育委員会及び東部教育事務所管内の子どもたちの現状と課題、県教育委員会の施策等について説明がありました。



- ・高知県教育委員会の各課における教育施策について（生涯学習課）
- ・「安全に使おう！ケイタイ・スマホ ～子どもたちをネットトラブルから守るために～」（人権教育課）
- ・平成26年度全国学力・学習状況調査の東部管内の状況について（東部教育事務所）

その後の分科会では、10名前後のグループに分かれて、それぞれのテーマに関する課題解決のために何ができるのかを考えました。

話し合われた内容は以下のテーマとなっております。

テーマA：「ネットトラブル対策」について

テーマB：「子どもとのかかわり方」について

テーマC：「生活リズムの向上」について



テーマA：「ネットトラブル対策」について

トラブルになったこと・困ったこと

- ラインを介した急激な場の広がり、生活習慣の乱れ、視力低下（夜遅くまで・朝まで）
- 携帯を持たせるタイミング、学校への持込の実態、家庭でのルールを守らない
- 親子の会話が減少、家庭内でイヤホン
- 親の知らないうちにゲーム等のダウンロードで高額請求。
- 詐欺、クレジットカード等の金銭トラブル
- 勉強時間の減少、ネットゲームに夢中、依存症気味（手放せない）
- 個人情報流出、情報源が携帯のみ
- コミュニケーション能力の低下 ○国語力：短文化
- 他人の家の庭でネットゲーム（ワイファイ）
- ラインでいじめ・誹謗・中傷、悪口の拡散、仲間はずれ
- 知らない人と会うネット中心の生活（出会い系サイトの問題）
- 大人が使い方についての理解不足



家庭でのルールとして

- フィルタリングをかける
- 親子で買う前に約束（時間、置き場所）、使用時間の徹底、寝る前にスマホを親に預ける、使用しないルールを決める、家と社会のルールを教える、親もルールを守る、個人のやりとりを電話にする
- 画像情報の添付禁止 ○保護者同士のつながりを大切にする
- 家族で充電器を一ヶ所にする
- 信頼関係をつくる、ラインやメールの内容を家族でオープンにする



教育学習として

- モラル教育 ○小さいころからの教育 ○良さとトラブル、恐さについて授業 ○親の学習会
- 親が参観日に講演会や研修会で学習する ○正しいことができる子どもを育てる ○道徳教育の中で指導していく ○子どもに危険性を知らせる ○小中学校でルールを統一

【感想・振り返りより】

- 小学校からのインターネット学習が必要である。小4、5、6年生で集中学習が必要である中学校からでは遅い。（使い方、犯罪、いじめ、依存）
- 大人も子どもも、悩みや不安を出し合うことが大事である
- トラブルについての対応は、集約して専門家に相談する（学校だけでは対応できない）
- 学校、単Pでできることにそれぞれ取り組む



テーマB：「子どもとの接し方」について

【ワークショップに参加して、日ごろから心がけておこうと思ったこと】

- 地域のコミュニティづくり、学校・家庭・地域のつながりを大切にする
- 親がわが子をしっかり見つめ、自分の子ども以外にもいつも声かけする
- 親同士のつながりを大切にし、日々子どもに声かけをする
- 子どもの気持ちになって考え、子どもを認める
- 仕事より子どもと向き合う
- 約束を守る姿勢



【ワークショップに参加して気づいたこと】

- 地域を知り、人を知ること、人と人とのつながりを大切にする
- 地域のコミュニティづくりが大切であること
- エピソードの不自然さが多様な考えを引き出すこと
- 悩みを正直に話したことをほめること ○時間がなくても話を聞く
- 自分も同じことがあったと共感する ○出会いが大切
- これをいかに他の人に広めていくかが、大切であるかということ
- 子どもをしっかり見ようと思った ○保護者、学校、みんなで話し合えてよかった
参加者みんなが色々な考えをもっているということ
- 自分の生き方を振り返ることができた。子どもが安心して話せる場をつくり見守ること
- 親として味方であることを伝える ○これからも会に参加しようと思った



テーマC：「生活リズムの向上」について



【今、学校で取り組んでいること】

- 朝、全校で5分間走 ○保幼小中で課題を共有 ○健康教育 ○朝食試食会
- 健康相談 ○教育相談 ○健康参観日 ○三者面談 ○集会等での声かけ ○保健朝礼
- 保健便りや学級通信での呼びかけ ○生活調査（年3回） ○食育（減塩）
- 保幼小中で三固定運動（起床、就寝、学習）の取組

【今、家庭で取り組んでいること】

- ◇父親の家事参加 ◇朝食を前日にリクエスト ◇歩いて通学 ◇1日の運動量を増やす
- ◇親が子どものリズムに合わせる ◇食事のバランス ◇一緒に食べる ◇簡単朝食レシピ
- ◇家庭学習の時間確保 ◇休日もリズムを変えない ◇親の生活リズムの見直し
- ◇元気っカードでできたことは大げさに褒める ◇生活ノートの点検
- ◇子どもと一緒に就寝

【PTAとしてできること】

- ◎保護者同士の情報交換の場の提供 ◎テレビゲームにかわる過ごし方を通信で発信
- ◎朝食アイデアコンクール、レシピコンクール徒歩通学の呼びかけ ◎「早く帰るデー」
- ◎親子で歩いて通学 ◎食育の啓発 ◎中学校区でノーテレビ ◎あいさつ運動（親）
- ◎親子、地域で弁当の日 ◎スポーツ大会等の企画で保護者をつなぐ ◎早朝児童クラブ
- ◎ノーテレビ、スマホ、携帯デー ◎家庭学習の手引き

【参加者のコメント】



ネットトラブル対策について、幼稚園の保護者の方よりご意見をいただきました。「子どもたちは友だち同士で撮った写真などを、簡単にネット上で送信しあっています。ネット上にアップするということは世界に発信することです。また、一度アップしたデータは消すこともできません。そういったことを知って利用しているのでしょうか。利用者としての“責任”といったことも、学校では指導していく必要があると思います。」



子どもとのかかわり方について、今回はワークショップを取り入れたグループ別協議に参加しました。参加者みんながそれぞれの役割を演じながら、その立場に立った考えに気づくことができました。とても新鮮に感じました。

【会長挨拶より】閉会にあたり、両地区PTA連絡協議会会長から、「今日の研修はいずれも貴重なものとして参考になるものばかりであった。私たちが今すぐできることもあったと思う。」「どの分科会も、一般常識など、人として基本的な部分に関わる人が多いように感じられる。」「全てのことをすぐに行うことは困難でも、何か一つでも各学校、家庭に持ち帰っていただき、子育てのヒントにさせていただきたい」等のあいさつがありました。会長のあいさつの通り、この日の話し合いの成果を是非、各单位PTAに持ち帰り、後の子育て・PTA活動に役立てて欲しいと思います。

今回の研修会を振り返って

両地区の研修会では、各単Pの活動について意見交換ができ、大変参考になってという声が多かったように思います。それぞれの地区で頑張っている方やPTAを、市町村P表彰や地区P表彰に紹介してほしいと思います。また、年度の初めには、日P表彰や文部科学大臣表彰などの推薦もありますので、「我がPの頑張り！」や「地区内のPの頑張り」を推薦してほしいと思います。

子どもたちのために一緒に“顔晴”（ガンバル）っていきましょう。

※顔晴（ガンバル）顔が晴れる（明るい気持ちで）のイメージの当て字です